

○セイパミエ (9月11日撮影)

立木



7.試作品種の立枯れ性病害評価

今回の実証試験の実施にあたり、植付け前の調査で土壌中にある程度の菌は検出されたものの、結果としていずれの品種とも立枯れの発生がみられず、評価できなかった。発生がみられなかった原因として、高温乾燥条件が続いたため圃場内の排水性が良好に保たれたことで病害の発生しにくい条件となっていた可能性が考えられた。

品種試作の実施にあたっては、立枯れの多発する園地や水はけの悪い園地などを優先的に選ぶことに加えて、予め土壌中の菌の種類を調査した上で圃場選定を行うのが望ましいのではないかと考える。

8.試作品種の総合評価

品種	慣行品種	有望品種	コメント
セイバレット	○	○	開花時期が他品種より遅いが、葉や軸が固く、花の形質も優れた。
セイフレイ			消灯前から芯止まりの発生が多かった。
セイカイラ			開花時期が他品種より遅かった。
セイマオン	○	○	花首などがやや折れやすいが、切り花のボリュームに優れた。
セイリムー			葉が柔らかく、切り花の曲がりが発生した。
セイリミニ			中位葉に斑紋状の障害が発生した。
セイクリミア			開花時期が他品種よりとても早かった。
セイリンツ			生育、開花のバラツキが大きかった。
セイレウカ	○	○	開花時期が他品種より早く、咲き揃いもよかった。高温期には退色の恐れがある。
セイオルビア		○	花色が良好で、高温時期でも薄くならなかった。
セイリポル			開花時期が他品種より遅かった。
セイアルノ		○	花色が良好で、切り花のボリュームも良かった。
セイアイレ			開花時期が非常に遅く、花卉の欠落する開花異常が多発した。
セイレグアス			消灯後に芯止まりの発生が少しみられた。
セイバミエ			花色が良好であると感じたが、人により評価が分かれた。
栽培全体の総評			高温の影響か、いずれの品種も草丈の伸長が遅かったため、消灯までの日数が多くかかり、ピーナインの使用が難しかった。消灯後は草丈の伸長が回復し、最終的な切り花長は確保できた。

9.試作者の実証事業の評価（コメント）

今回実証をおこなった夏秋系品種だけでなく、秋系品種でも萎凋病や半身萎凋病といった立枯性病害による被害で減収を余儀なくされている生産者もいることから、秋系品種においても立枯性病害に対する一層の対策を検討していく必要があると考える。

また、立枯性病害とは直接関係はないが、今回試験を行った品種で発生した芯止まりや花卉の欠落についても、品種によっては出荷困難な発生状況となったことから、その発生原因や対策についても究明してもらえると安心して栽培ができると感じた。

参画県試作生産者：愛知県（豊川）

1. 栽培概要

面積：開口(25.2m)×奥行(27m) 200坪

ネットサイズ：15cm×8目 栽植本数：90本/坪

構造：温室（連棟）

暖房機：温風＋ヒートポンプ

定植日 令和5年7月1日（ソイルブロック）

栽培方法：ピンチ（仕立て本数：2～3本/株）7/11

電照：22時30分～4時

消灯処理：8月6日

天窗の開閉温度：25℃

日長管理：8月6日～8月31日（25日間）18：00～6：15（12h 15min）シェード

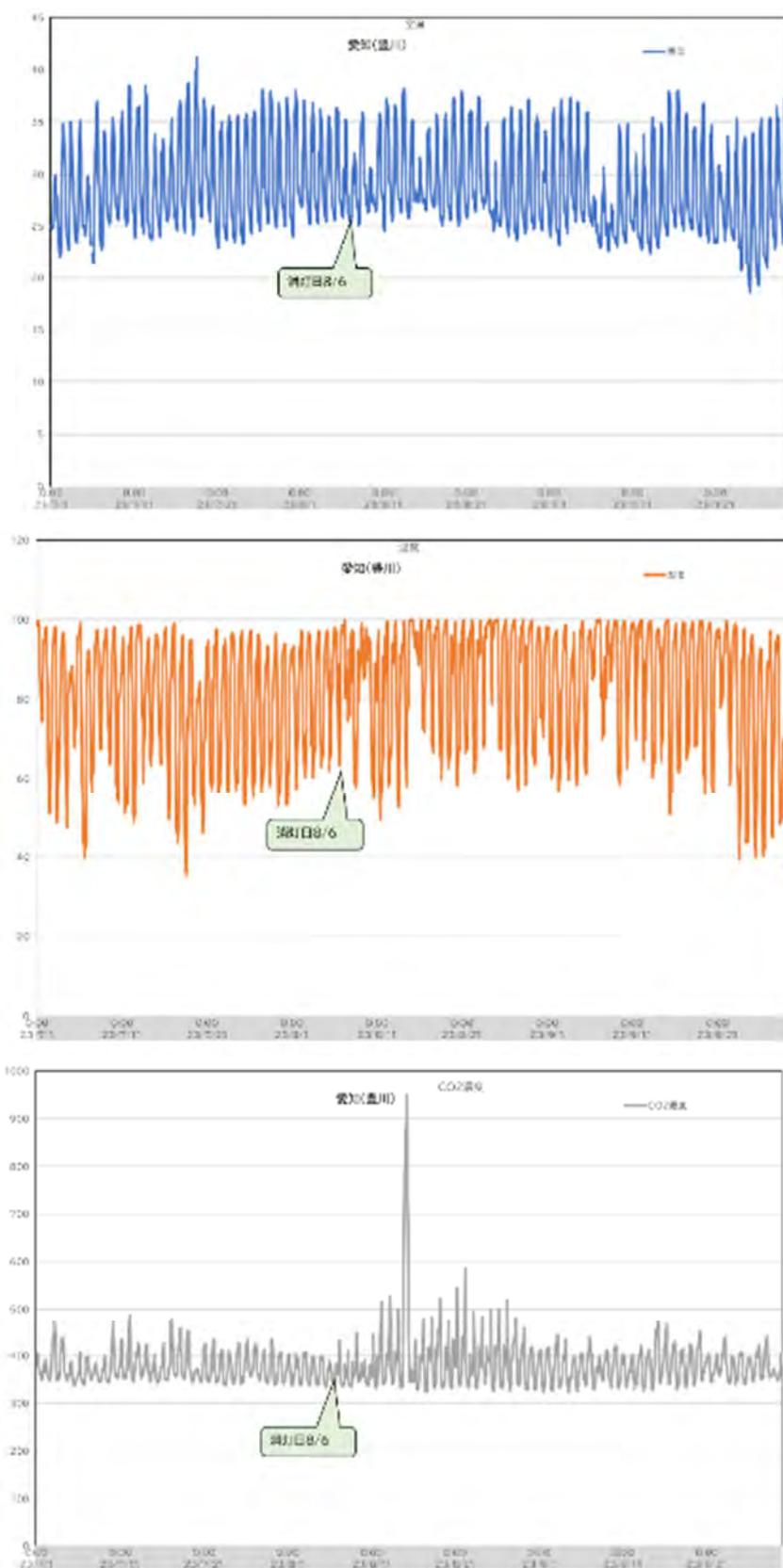
LED照明

植物調整剤：ビーナイン 3回処理（7/29、8/6、8/16） 1000倍

採花日：9月17日（切り始め）

収穫終了日：9月30日

2. 環境計測データ (1 時間平均)



3. 環境計測データ (1日平均)



4. 試作品種調査結果

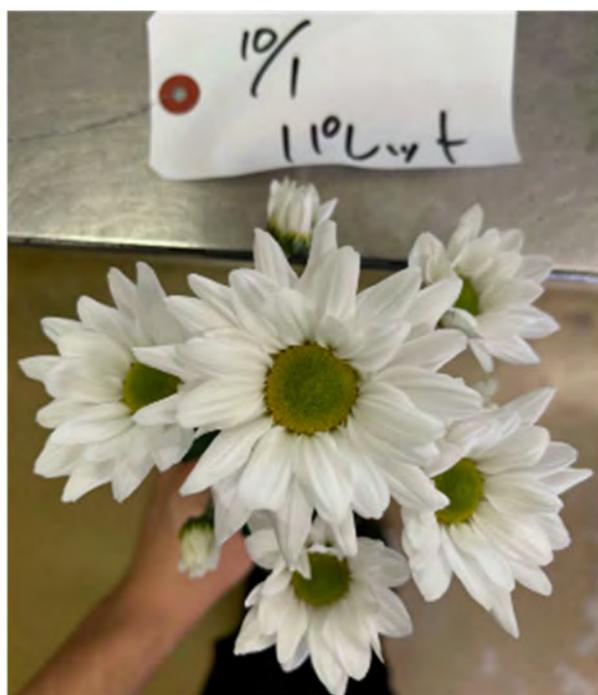
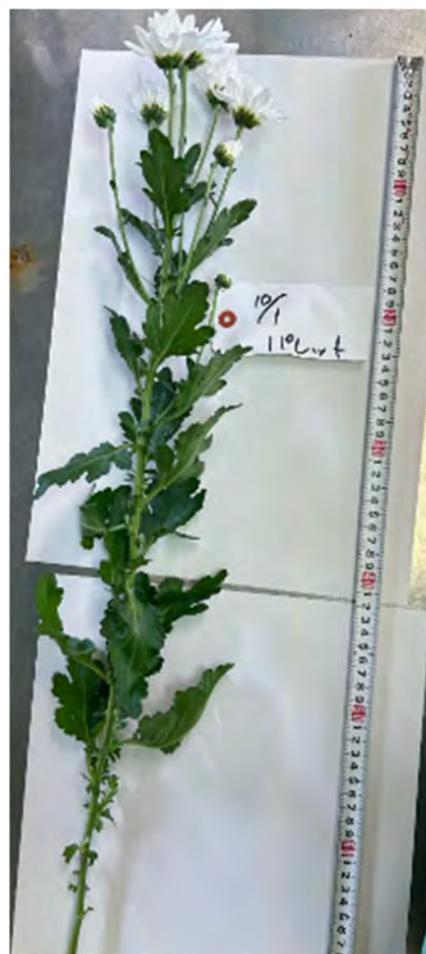
品種名	消灯時草丈(cm)	消灯時節数	草丈(cm)	増加節数	花蕾径(mm)	1次分枝数	第4側枝長(mm)
セイパレットW	44.3±0.6	17.2±0.7	101.1±0.4	23.5±0.9	7.3±0.1	7.4±0.4	16.4±0.5
セイフレイW	44.3±0.7	15.9±0.6	105.3±1.1	25.8±0.8	6.1±0.1	10.3±0.5	12.4±0.2
セイカイラW	51.5±0.7	20.7±0.6	97.7±0.4	27.2±1.0	6.3±0.1	7.9±0.4	12.9±0.3
セイリムーY	52.7±1.0	17.1±0.4	105.8±0.9	25.7±0.8	6.1±0.1	11.7±0.7	12.2±0.3
セイリミニY	41.9±0.4	17.3±0.6	102.9±1.0	28.5±1.1	5.3±0.1	12.9±0.6	11.8±0.3
セイクリミアY	52.2±0.9	18.5±0.7	102.7±0.8	22.3±1.0	6.7±0.2	7.5±0.4	13.2±0.5
セイマオンY	39.3±0.5	14.4±0.2	99.3±1.1	26.6±0.6	6.5±0.1	8.6±0.3	15.1±0.6
セイリンツY	47.5±0.4	18.1±0.4	106.7±0.4	28.8±1.1	5.5±0.1	9.5±0.5	15.5±0.6
セイレウカP	53.3±0.7	13.9±0.3	103.9±0.6	20.6±0.6	4.8±0.1	8.7±0.2	8.3±0.1
セイオルビアP	50.7±0.6	17.5±0.2	111.9±0.5	21.0±0.6	6.4±0.1	8.3±0.3	12.1±0.2
セイリポルP	51.2±0.4	18.4±0.3	102.9±0.6	20.3±0.8	6.8±0.1	9.0±0.4	13.4±0.4
セリアルノP	50.0±0.4	18.3±0.4	97.2±0.6	23.8±0.6	4.9±0.1	10.1±0.4	11.7±0.3
セイアイレDP	37.8±0.3	13.3±0.2	91.8±0.5	21.3±0.7	6.9±0.1	10.8±0.3	8.5±0.3
セイレグアスO	52.8±1.0	17.4±0.4	106.3±0.9	24.1±0.5	5.7±0.1	10.4±0.6	11.6±0.6
セイパミエSP	51.7±0.5	13.6±0.2	117.9±1.3	21.7±0.7	6.3±0.1	9.9±0.5	9.8±0.3
品種名	第4側枝着生角度(°)	切り花重(g)	80cm調整重(g)	栽培日数	到花日数	罹病率	(罹病個体/植付本数)
セイパレットW	18.7±1.1	92.2±5.0	70.0±3.6	88	52	4%	(2/56)
セイフレイW	23.1±1.0	97.5±7.1	74.4±5.0	89	53	2%	(1/56)
セイカイラW	31.4±0.9	82.6±4.6	69.6±3.7	83	47	9%	(5/56)
セイリムーY	15.4±1.1	89.5±4.5	76.0±4.5	84	48	2%	(1/56)
セイリミニY	17.9±1.9	68.6±3.9	54.2±3.4	84	48	0%	(0/56)
セイクリミアY	31.9±1.0	57.9±2.5	47.3±2.0	78	42	2%	(1/56)
セイマオンY	23.9±1.0	75.2±2.7	62.0±2.3	88	52	2%	(1/56)
セイリンツY	23.3±1.2	85.9±3.1	65.0±2.3	86	50	0%	(0/56)
セイレウカP	17.5±0.7	61.5±2.9	50.7±2.3	78	42	4%	(2/56)
セイオルビアP	25.5±1.1	78.5±3.7	58.9±2.6	81	45	0%	(0/56)
セイリポルP	18.4±0.9	104.5±7.0	88.0±5.8	86	50	16%	(9/56)
セリアルノP	27.9±1.3	70.5±3.1	61.6±2.4	83	47	0%	(0/56)
セイアイレDP	30.5±0.5	71.4±3.9	59.0±3.2	92	56	0%	(0/56)
セイレグアスO	19.9±0.7	86.2±5.9	67.6±4.9	82	46	2%	(1/56)
セイパミエSP	22.0±0.7	60.6±4.0	45.6±3.1	80	44	4%	(2/52)

5. 試作施設状況（令和5年9月20日撮影）



6. 試作品種写真

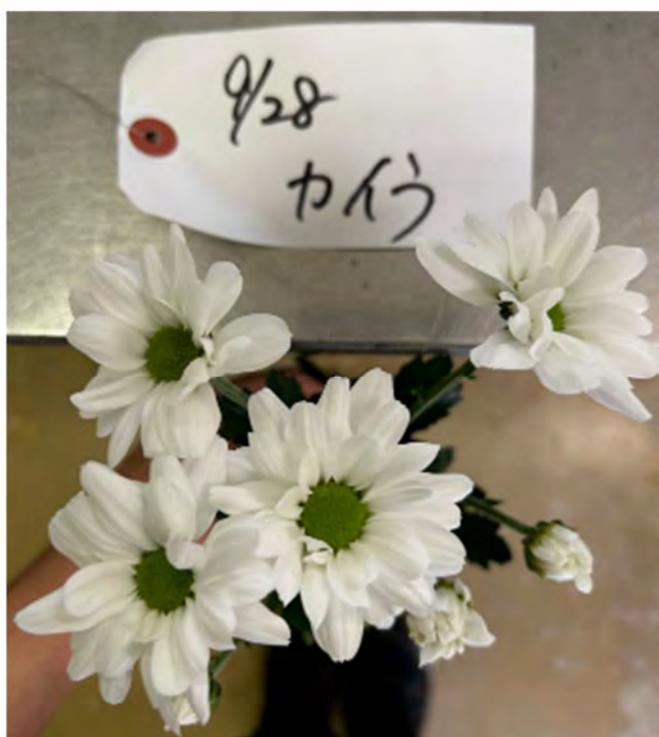
セイパレット (立木 10/1、木姿・花 10/4)



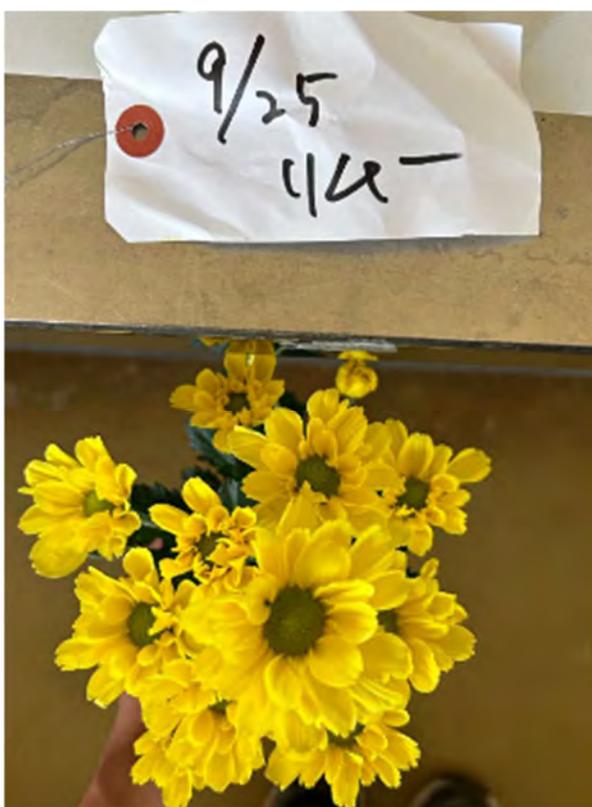
セイフレイ (立木 10/1、木姿・花 10/4)



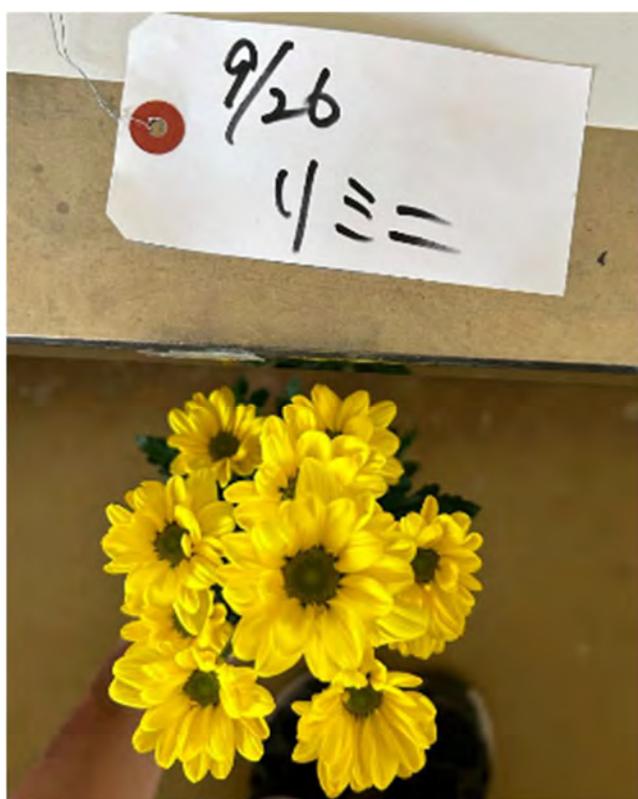
セイカイラ (立木 9/28、木姿・花 10/4)



セイリムー (立木 9/25、木姿・花 9/27)



セイリミニ (立木 9/26、木姿・花 9/27)



セイクリミア (立木 9/20、木姿・花 9/26)



セイマオン (立木 10/1、木姿・花 10/4)



セイリント (立木 9/28、木姿・花 10/4)



セイレウカ (立木 9/20、木姿・花 9/26)



セイオルビア (立木 9/24、木姿・花 9/27)

